

国土利用計画北上市計画 2011—2020

説明資料

平成 22 年 3 月

岩手県北上市

国土利用計画北上市計画 説明資料 目次

1	計画策定の経緯	1
2	利用区分の定義	2
3	地域区分	5
4	人口等の見通し	6
5	土地利用の面積の推移	7
6	土地利用のフレーム	8
7	土地利用のフレームの説明	9
8	土地利用転換マトリックス	10
9	土地利用現況図及び土地利用構想図	13

1. 計画策定の経緯

年月日	経緯
平成20年 8月19日	国土利用計画北上市計画策定方針庁議決定
平成20年 9月26日	北上市議会全員協議会（策定方針）
平成20年10月 7日	地域計画策定に係る研修会（16地区：詩歌文学館） （新しい総合計画、国土利用計画の策定スケジュールについて）
平成20年11月 7日 ～11月20日	住民意向調査実施 （新しい総合計画策定のためのまちづくりアンケート調査と併せて実施）
平成21年 1月26日 ～ 2月 6日	国土利用計画北上市計画策定に係る課題等調査 （庁内担当課）
平成21年 7月13日 ～ 7月31日	新しい総合計画基本構想（素案）パブリックコメント実施 （土地利用構想）
平成21年 8月21日	北上市土地利用対策委員会開催 （土地利用の基本的な考え方、土地利用構想図等について）
平成21年10月19日	北上市土地利用対策委員会開催 （土地利用のフレーム、地域別の土地利用の方向等について）
平成21年11月10日	国土利用計画北上市計画について岩手県と事前協議（意見照会）
平成21年11月19日	北上市議会全員協議会（国土利用計画北上市計画素案）
平成21年11月27日	北上市基本構想等審議会開催 （国土利用計画北上市計画素案について）
平成21年11月30日 ～12月11日	国土利用計画北上市計画（素案）パブリックコメント実施
平成21年12月16日	北上市総合計画2011-2020 基本構想議決
平成21年12月24日	土地利用対策委員会開催 （国土利用計画北上市計画について）
平成22年 1月26日	庁議
平成22年 3月24日	北上市議会議決
平成22年 4月	岩手県知事へ報告
平成22年 4月	北上市告示により公表

2. 利用区分の定義

利用区分	定義	面積把握の方法
1 農用地	農地法第2条第1項に定める農地及び採草放牧地の合計。	「農地」＋「採草放牧地」
農地	農地とは、耕作の用に供される土地で、田と畑に区分される。	『北上市固定資産の価格等の概要調書』の「田」と「畑」の合計。 ※固定資産評価上の農地の判定基準は農地法の判定基準と同様である。
(1) 田	農耕地で用水を利用して耕作する土地。畦畔を含み、水路、農道は含まない。	『北上市固定資産の価格等の概要調書』の「田」[一般田・介在田(市街化区域田)]の非課税地積と評価総地積の合計。 ※「介在田」とは、農地法第4条及び第5条の規定により宅地等への転用許可を受けた土地をいい、「介在田」以外は「一般田」とする。
(2) 畑	農耕地で用水を利用しないで耕作する土地。畦畔を含み、水路、農道は含まない。	『北上市固定資産の価格等の概要調書』の「畑」[一般畑・介在畑(市街化区域畑)]の非課税地積と評価総地積の合計。 ※「介在畑」とは、農地法第4条及び第5条の規定により宅地等への転用許可を受けた土地をいい、「介在畑」以外は「一般畑」とする。
採草放牧地	農地以外の土地で、主として耕作または養畜の事業のための採草または家畜の放牧の目的に供されるもの。野草地のことで、農地造成等による人口草地は農地に含まれる。	『北上市固定資産の価格等の概要調書』の「畑」に牧草栽培地は含まれる。

利用区分	定義	面積把握の方法
2 森林	耕作の方法によらないで竹木の生育する土地。	『北上市固定資産の価格等の概要調書』の「山林」（一般山林・介在山林）の非課税地積と評価地積の合計。
3 原野	耕作の方法によらないで雑草、かん木類の生育する土地をいう。比較的平坦、かつ広大な地域で、人の手が加えられずに長年雑草やかん木が生えるままの状態の土地。	『北上市固定資産の価格等の概要調書』の原野の非課税地積と評価総地積の合計。
4 水面・河川 ・水路	下記区分による。	「水面」＋「河川」＋「水路」
(1)水面	湖沼(人造湖及び天然湖)並びに溜池の満水時の水面。	①天然湖沼…面積10ha以上。本県には該当なし。 ②人造湖…『ダム総覧』に掲げるダムのうち、堤高15m以上のものの湛水面積。 ③溜池…業務資料による。
(2)河川	河川法第4条に定める一級河川、同法第5条に定める二級河川及び同法第100条による準用河川の同法第6条に定める河川区域。	一級河川、二級河川、準用河川のそれぞれの河川について「延長」×「標準幅員」で算出。
(3)水路	農業用排水路。	「整備済み水田の水路」＋「未整備水田の水路」 ①整備済み水田の水路＝備済水田面積×0.067 ②未整備水田の水路＝未整備水田面積×0.048 係数は東北農政局資料。整備済とは区画20a以上のものとする。

利用区分	定義	面積把握の方法
5 道路	一般道路及び農林道の合計。車道部（車道、中央帯、路肩）、歩道部、自転車道部及び法面等の面積。 私道等は含まない。	「一般道路」＋「農道」＋「林道」
(1) 一般道路	道路法第2条第1項に定める道路。	「高速道路」＋「国道」＋「県道」＋「市道」 高速自動車国道、国道、県道は東日本高速道路株式会社、国土交通省、岩手県に照会。 市道は北上市統計書による。
(2) 農道	『農道台帳』の農道延長に一定幅員を乗じたほ場外農道及び農地面積に一定率を乗じたほ場内農道。	「ほ場内農道面積」＋「ほ場外農道面積」 ①ほ場内農道面積 ＝(整備済水田面積×0.062)＋(未整備水田面積×0.044)＋(整備済畑面積×0.067)＋(未整備畑面積×0.023) 係数は東北農政局資料。 ②ほ場外農道…『農道台帳』の農道延長×一定幅員(8m)幅員4m以上を対象とする。
(3) 林道	国有林林道及び民有林林道。	「国有林林道」＋「民有林林道」。 ①国有林林道…延長×一定幅員(8m) 延長は東北森林管理局岩手南部森林管理署の資料による。 ②民有林林道…延長×一定幅員(8m) 延長は『岩手県林業動向年報(資料編)』の「民有林林道現況累計延長」による。
6 宅地	建物の敷地及び建物の維持または効用を果すために必要な土地。	『北上市固定資産の価格等の概要調書』の宅地の非課税地積と評価総地積の合計。
(1) 住宅地	『固定資産の価格等の概要調書』の評価総地積の住宅用地と非課税地積のうち県営住宅、市営住宅、公務員住宅用地をあわせたもの。	評価総地積の住宅用地…『固定資産の価格等の概要調書』の「評価総地積の住宅用地」＋「公営住宅用地」
(2) 工業用地	『工業統計表(用地・用水編)』にいう「事業所敷地面積」で従業者10人以上の工場敷地面積。	「工業用地」＝①＋② ①従業者30人以上の工場用地 「工業統計調査報告書(岩手県)」の敷地面積 ②従業者10～29人の工場用地面積(下記推計) $\frac{\text{従業者10～29人の製造品等出荷額}}{\text{従業者30人以上の製造品等出荷額}} \times \text{従業者30人以上の工場用地面積}$
(3) その他宅地	(1)住宅地及び(2)工業用地のいずれにも該当しない宅地。	「その他の宅地」＝「宅地」－「住宅地」－「工業用地」
7 その他	市の面積から「農用地」「森林」「原野」「水面・河川・水路」「道路」「宅地」を除いたもの。	「その他」＝「市面積」－「農用地」－「森林」－「原野」－「水面・河川・水路」－「道路」－「宅地」

3. 地域区分

(1) 地域区分の説明

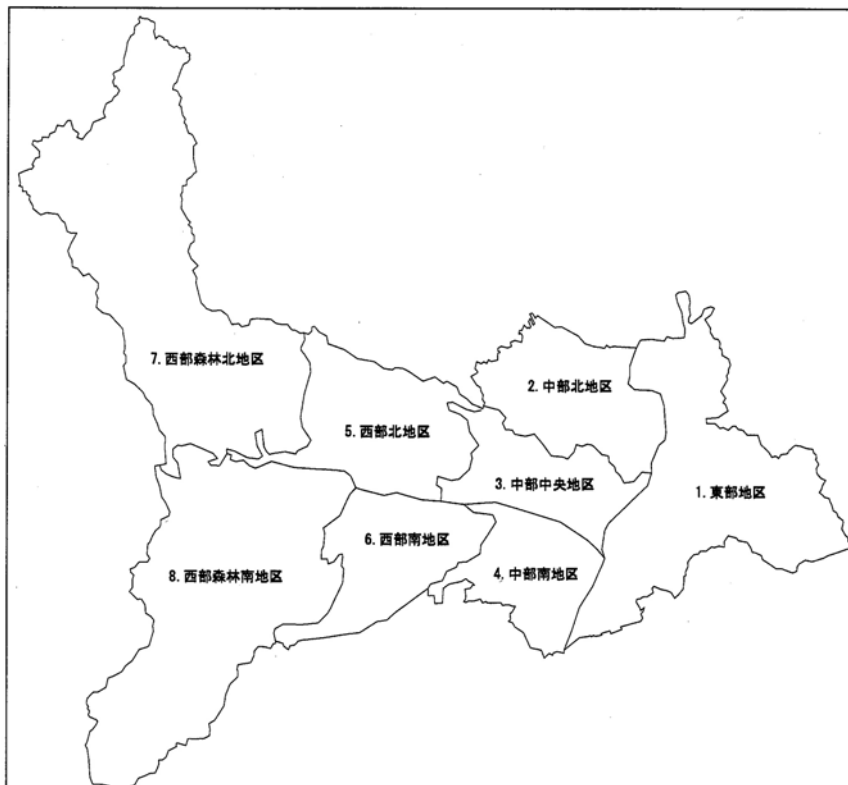
北上市総合計画基本構想では、土地利用の構想について、市域の地形的な条件や歴史的な背景にもとづき、北上市を大きく、東部地区、中部地区、西部地区、西部森林地区の4つの地域にゾーニングしています。

本計画では、4地域のゾーニングをふまえ、さらに細かく8つの地区に区分しました。区分にあたっては、和賀川によって南北に区分し、さらに中部地域は経済活動等をふまえて、中部北と中部中央に区分しました。

地区	地区の範囲	面積 (ha)	人口 (人)
東部地区	更木、黒岩、立花、口内、稲瀬 相去の一部(上川原、上川原町分、上大切、中川原、中大切、中谷木) 住民はいない	7,392	5,120
中部北地区	飯豊、二子	3,424	16,328
中部中央地区	黒沢尻、江釣子	2,663	44,458
中部南地区	鬼柳、相去(※一部除く)	2,647	13,740
西部北地区	藤根、長沼(※一部除く)、後藤、堅川目、横川目(※一部除く)	4,125	9,676
西部南地区	岩崎、岩崎新田、煤孫、長沼の一部(13、14地割)	3,145	3,164
西部森林北地区	西部森林地区の和賀川以北 [横川目の一部(3、5地割)、仙人の一部(8、9地割)]	10,755	90
西部森林南地区	西部森林地区の和賀川以南 [山口、岩沢、仙人(※一部除く)]	9,604	1,043
合計		43,755	93,619

※住民基本台帳人口 平成21年3月末

(2) 地域区分図



4. 人口等の見通し

区分	単位	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成32年 2020年	平成17年から 平成32年まで の伸び率(%)	平成32年 目標値 (総人口)
総人口	人	87,969	91,501	94,321	95,399	95,188	94,260	-0.06	95,000
0～14歳	人	15,328	14,657	14,436	13,864	13,047	12,145	-15.87	
15～64歳	人	58,509	59,786	60,532	60,387	58,519	56,472	-6.71	
65歳以上	人	14,132	16,838	19,353	21,148	23,622	25,643	32.50	
総世帯数	世帯	28,247	31,023	33,623	35,203	35,920	36,394	8.24	
1世帯当たり人員	人	3.11	2.95	2.81	2.71	2.65	2.59	-7.83	

※1 総人口

平成7年、平成12年、平成17年数値は国勢調査による。平成22年、平成27年、平成32年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成20年12月推計、コーホート要因法）による。

※2 総世帯数及び1世帯当たりの人員

平成12年、平成17年数値は国勢調査による。平成22年、平成27年、平成32年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）」（平成20年3月推計）に基づく、推計試算。

【参考】

○産業別就業者数の推移と見通し

単位（人）

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
第1次産業	5,695 (11.8%)	4,480 (9.7%)	4,162 (8.6%)	3,804 (7.7%)	3,456 (7.0%)	3,194 (6.6%)
第2次産業	20,212 (42.0%)	20,316 (40.9%)	18,595 (38.3%)	17,735 (36.2%)	17,304 (35.4%)	17,089 (35.3%)
第3次産業	22,208 (46.1%)	24,482 (49.3%)	25,367 (52.3%)	27,497 (56.1%)	28,166 (57.6%)	28,167 (58.1%)
分類不能	30 (0.1%)	13 (0.1%)	371 (0.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
総数	48,145 (100%)	49,651 (100%)	48,495 (100%)	49,036 (100%)	48,926 (100%)	48,450 (100%)

※平成7年、12年、17年数値は国勢調査による。

平成22年、27年、32年はこれまでの推移に基づく推計試算。

（なお、土地利用の推計を行う際に、就業人口の推計値は用いていない）

5. 土地利用の面積の推移

区分	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
農用地	10,032	9,995	9,967	9,941	9,923	9,907	9,893	9,864	9,852	9,825	9,796
農地	10,032	9,995	9,967	9,941	9,923	9,907	9,893	9,864	9,852	9,825	9,796
採草放牧地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
森林	22,666	22,643	22,639	22,643	22,634	22,638	22,635	22,278	22,282	22,254	22,248
原野	1,030	1,004	1,006	1,003	999	1,007	1,006	996	996	995	992
水面・河川・水路	1,992	1,990	1,992	1,992	1,994	1,995	1,995	1,995	1,995	1,995	1,995
水面	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135
河川	1,324	1,324	1,324	1,324	1,324	1,324	1,324	1,324	1,324	1,324	1,324
水路	533	531	533	533	535	536	536	536	536	536	536
道路	2,422	2,448	2,464	2,476	2,488	2,512	2,518	2,534	2,541	2,542	2,592
一般道路	1,727	1,755	1,768	1,780	1,791	1,814	1,819	1,838	1,844	1,848	1,898
農道	593	591	594	594	595	596	597	594	594	591	591
林道	102	102	102	102	102	102	102	102	103	103	103
宅地	2,285	2,305	2,328	2,349	2,362	2,373	2,387	2,405	2,437	2,449	2,465
住宅地	1,347	1,361	1,376	1,390	1,403	1,413	1,426	1,441	1,449	1,459	1,473
工業用地	320	318	326	312	298	306	304	297	311	313	315
その他の宅地	618	626	626	647	661	654	657	667	677	677	677
その他	3,328	3,370	3,359	3,351	3,355	3,323	3,321	3,683	3,652	3,695	3,667
合計	43,755	43,755	43,755	43,755	43,755	43,755	43,755	43,755	43,755	43,755	43,755
市街地（D I D）	-	-	690	-	-	-	-	710	-	-	-

6. 土地利用のフレーム

単位：ha

区 分	現況 平成20年	目標 平成32年	増減	伸び率 (%)	備 考
農用地	9,796	9,621	-175	-1.8	
田	8,547	8,391	-156	-1.8	
畑	1,249	1,230	-19	-1.5	
採草放牧地	0	0	0	0.0	
森林	22,248	22,253	5	0.0	
原野	992	987	-5	-0.5	
水面・河川・水路	1,995	1,992	-3	-0.2	
水面	135	135	0	0.0	
河川	1,324	1,324	0	0.0	
水路	536	533	-3	-0.6	
道路	2,592	2,628	36	1.4	
一般道路	1,898	1,938	40	2.1	
農道	591	586	-5	-0.8	
林道	103	104	1	1.0	
宅地	2,465	2,569	104	4.2	
住宅地	1,473	1,510	37	2.5	
工業用地	315	363	48	15.2	
その他の宅地	677	696	19	2.8	
その他	3,667	3,705	38	1.0	
合計	43,755	43,755	0	0.0	
市街地（D I D）	710	731	21	3.0	現況は平成17年値

7. 土地利用のフレームの説明

利用区分	内容	備考
農地	基準年は9,796haであり、目標年次には9,621haとなります。道路整備や総世帯数の増加に伴う宅地化、後藤野工業団地への企業立地、一般廃棄物処理施設（岩手中部広域行政組合）、岩手県立中部病院の立地に伴う都市化の進展、展勝地公園の整備等により転換すると推計しました。	事業計画による転換の内訳は「土地利用転換マトリクス」による。
森林	基準年は22,248haであり、目標年次には22,253haとなります。企業の森づくりに伴う植林により増加するとしました。	
原野	基準年は992haであり、目標年次には987haとなります。企業の森づくりに伴う植林により減少するとしました。	
水面・河川・水路	基準年は1,995haであり、目標年次には1,992haとなります。この内、水面、河川については転換はありません。水路については、ほ場整備による増加と、道路整備や総世帯数の増加に伴う宅地化、一般廃棄物処理施設（岩手中部広域行政組合）、岩手県立中部病院の立地に伴う都市化の進展、展勝地公園の整備による転換による減少を推計しました。	
道路	基準年は2,592haであり、目標年次には2,628haとなります。一般道路では国・県・市道について、過去の推移をもとに整備が進むものとして推計しました。	
宅地	基準年は2,465haであり、目標年次には2,569haとなります。住宅地は、人口の見通しでは総人口は減少しますが、総世帯数は増加することから過去の推移をもとに推計しました。工業用地については、南部工業団地及び後藤野工業団地への企業立地により転換すると推計しました。その他の宅地は、事業所や店舗等の用地が総世帯数が増加することから過去の推移をもとに推計しました。	
その他	基準年は3,667haであり、目標年次には3,705haとなります。一般廃棄物処理施設（岩手中部広域行政組合）、岩手県立中部病院の立地に伴う都市化の進展、展勝地公園の整備、立花輪中堤の整備、二子堤防の整備により転換すると推計しました。	
市街地	人口の見通しでは総人口は減少しますが、総世帯数は増加します。このことから過去の推移をもとに推計しました。	

8. 土地利用転換マトリックス

土地利用転換マトリックス表（基準年次：平成20年～目標年次：平成32年）

単位：ha

転換前 転換後		農用地			森林	原野	水面等			道路			宅地			その他	現況 平成20年	土地利用転換			目標 平成32年
		田	畑	採草放牧地			水面	河川	水路	一般道路	農道	林道	住宅地	工業	その他の宅地			増加	減少	増減	
農用地	田															8,547	0	156	-156	8,391	
	畑															1,249	0	19	-19	1,230	
	採草放牧地															0	0	0	0	0	
森林	国有林等					5										22,248	5	0	5	22,253	
原野																992	0	5	-5	987	
水面等	水面															135	0	0	0	135	
	河川															1,324	0	0	0	1,324	
	水路		4													536	4	7	-3	533	
道路	一般道路		27	4					2		2				5	1,898	40	0	40	1,938	
	農道		4													591	4	9	-5	586	
	林道													1		103	1	0	1	104	
宅地	住宅地		29	4					2		2					1,473	37	0	37	1,510	
	工業		20	3					1		1				23	315	48	0	48	363	
	その他の宅地		35	5					1		1					677	42	23	19	696	
その他		37	3						1		3					3,667	44	6	38	3,705	
転換減少計		156	19	0	0	5	0	0	7	0	9	0	0	0	23	6	225	225	0		

土地利用転換マトリックス内訳表 (1/2)

土地利用 区分	増加要因		減少要因		転換計画の内容
	転換前の土地利用区分	面積	転換後の土地利用区分	面積	
田			水路	4	ほ場整備
			一般道路	27	国県市道の整備
			農道	4	ほ場整備
			住宅地	29	総世帯数増に伴う住宅地の増
			工業用地	20	後藤野工業団地への企業立地
			その他の宅地	22	後藤野工業団地の造成
			その他の宅地	13	総世帯数増に伴うその他の宅地の増
			その他	11	一般廃棄物処理施設（岩手中部広域行政組合）の立地
			その他	8	岩手県立中部病院の立地に伴う都市化の進展
			その他	13	展勝地公園の整備
			その他	1	立花輪中堤の整備
			その他	4	二子堤防の整備
			小計	156	
畑			一般道路	4	国県市道の整備
			住宅地	4	総世帯数増に伴う住宅地の増
			工業用地	3	後藤野工業団地への企業立地
			その他の宅地	3	後藤野工業団地の造成
			その他の宅地	2	総世帯数増に伴うその他の宅地の増
			その他	1	岩手県立中部病院の立地に伴う都市化の進展
			その他	2	展勝地公園の整備
		小計	19		
森林	原野	5			企業の森づくりに伴う植林
	小計	5			
原野			森林	5	企業の森づくりに伴う植林
			小計	5	
水路	田	4			ほ場整備
			工業用地	1	後藤野工業団地への企業立地
			一般道路	2	国県市道の整備
			住宅地	2	総世帯数増に伴う住宅地の増
			その他の宅地	1	総世帯数増に伴うその他の宅地の増
			その他	1	展勝地公園の整備
		小計	4	小計	7
一般道路	田	27			国県市道の整備
	畑	4			国県市道の整備
	水路	2			国県市道の整備
	農道	2			国県市道の整備
	その他	5			国県市道の整備
	小計	40			
農道	田	4			ほ場整備
			工業用地	1	後藤野工業団地への企業立地
			一般道路	2	国県市道の整備
			住宅地	2	総世帯数増に伴う住宅地の増
			その他の宅地	1	総世帯数増に伴うその他の宅地の増
			その他	1	一般廃棄物処理施設（岩手中部広域行政組合）の立地
			その他	1	岩手県立中部病院の立地に伴う都市化の進展
			その他	1	展勝地公園の整備
		小計	4	小計	9

土地利用転換マトリックス内訳表 (2/2)

土地利用 区分	増加要因		減少要因		転換計画の内容
	転換前の土地利用区分	面積	転換後の土地利用区分	面積	
林道	その他	1			林道の整備
	小計	1			
住宅地	田	29			総世帯数増に伴う住宅地の増
	畑	4			総世帯数増に伴う住宅地の増
	水路	2			総世帯数増に伴う住宅地の増
	農道	2			総世帯数増に伴う住宅地の増
	小計	37			
工業用地	田	20			後藤野工業団地への企業立地
	畑	3			後藤野工業団地への企業立地
	水路	1			後藤野工業団地への企業立地
	農道	1			後藤野工業団地への企業立地
	その他の宅地	23			南部工業団地等への企業立地
	小計	48			
その他の宅地	田	22			後藤野工業団地の造成
	田	13			総世帯数増に伴うその他の宅地の増
	畑	3			後藤野工業団地の造成
	畑	2			総世帯数増に伴うその他の宅地の増
	水路	1			総世帯数増に伴うその他の宅地の増
	農道	1			総世帯数増に伴うその他の宅地の増
	小計	42	工業用地	23	南部工業団地等への企業立地
その他	田	11			一般廃棄物処理施設（岩手中部広域行政組合）の立地
	田	8			岩手県立中部病院の立地に伴う都市化の進展
	田	13			展勝地公園の整備
	田	1			立花輪中堤の整備
	田	4			二子堤防の整備
	畑	1			岩手県立中部病院の立地に伴う都市化の進展
	畑	2			展勝地公園の整備
	水路	1			展勝地公園の整備
	農道	1			一般廃棄物処理施設（岩手中部広域行政組合）の立地
	農道	1			岩手県立中部病院の立地に伴う都市化の進展
	農道	1			展勝地公園の整備
	小計	44	一般道路	5	国県市道の整備
			林道	1	林道の整備
	小計	44	小計	6	
合計		225		225	

9. 土地利用現況図及び土地利用構想図